

実践記録 小学6年 社会科

1 単元 明治の国づくりを進めた人々

2 目標

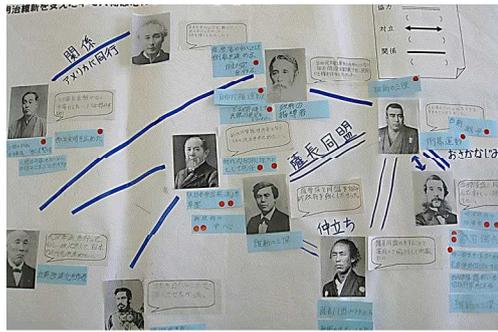
歴史上の人物が何をしたか、どのような関係があるかを知ることにより、歴史上の出来事について理解を深めることができる。

3 情報の交流を行う場面と期待される効果

- ・ 「明治維新の中心人物は誰か。」というテーマで意見を出し合い、情報の交流を行うことで、立場や見方の違いによる様々な考えを知り、出来事に対する理解を深めることができる。
- ・ 歴史上の人物について、働きや人物の関わりに関する情報を出し合って情報の交流を行い、人物相関図を作成することで、歴史上の出来事とそれに関わる人間関係について、理解を深めることができる。

4 実践の様子

本学級は、出まわりの活動を中心とした学習活動を行っています。この単元では、歴史上の人物が何をしたか、どのような関係があるかを知ることにより、歴史上の出来事について理解を深めることができる。という目標を掲げ、情報の交流を行う場面と期待される効果を実践の様子として紹介します。



【完成した相関図の一部】〈資料1〉



【人物相関図を作る様子】〈資料2〉

明治維新を支えた中心人物は、西郷隆盛・大久保利通・木戸孝允・坂本龍馬・岩倉具視・伊藤博文・勝海舟・明石常雄・大久保利通・大久保利通・大久保利通... (Note: The text in the image is partially obscured and repetitive, focusing on the process of identifying key figures and their relationships.)

私が考える、明治維新を支えた中心人物は（大久保利通）です。

（理由）

西郷と江戸幕府をたおした。明治時代、明治政府の中心となり、倒幕で活やくした西郷、木戸と並び「維新三傑」と称される。岩倉具視を中心とする使節団の一員として、海外視察のため欧米へゆたつた。進んだ海外の情勢におどろく。イギリスの大規模な機械化。これでは日本は勝てない。国を豊かに強にする。富国強兵。官官工場。地産興業。

【意見交流前のA児の考え】〈資料3〉

（学習の振り返り）

明治維新を支えたのは、坂本竜馬だと思います。仲の悪かった長州藩と薩摩藩を結び合わせ、（薩長同盟）倒幕もできました。だから坂本がいなくて明治時代、明治維新の中心人物は坂本竜馬だと思います。しかし、話し合いを聞いて明治維新を支えた人物は、坂本竜馬だけではなく、どの人物も明治の世をより良くしようとしたので、私は明治時代の人物全員が活やくしたと思います。

【意見交流後のA児の考え】〈資料4〉

A児は、明治維新の中心人物を、「西郷隆盛と共に関わり、幕府を倒した人物であったこと」と「岩倉具視と共に海外を視察し、国を豊かにした人物であったこと」から、大久保利通だと考えた。【資料3】しかし、学級全体で、グループで作った相関図を基に情報の交流を行った後では、友達の、「坂本龍馬が薩長同盟の仲立ちをしたことで幕府を倒すことにつながった。」という発表から、坂本龍馬が中心人物であると、考えを変えた。

最後に学習の振り返りを行った。この児童は情報の交流を通じて、「どの人物も明治の世の中をよくしようとがんばった。」と学習を振り返った。

5 成果と課題

- グループや学級全体での意見を出し合い、情報の交流を行ったことで、様々な考えや見方を知り、自分の意見に固執せず、友達の意見を素直に聞き、自分の考えを深めることができた。
- 情報の交流を行い、人物相関図を作ったことで、歴史の流れや人物の関わりから多面的にとらえることができた。
- 人物相関図をつくる際、情報が多い人物と少ない人物ができてしまい、情報が少ない人物については情報の交流が活発に行われなかった。